

写真でつづる富士こども園の歴史

作成：高橋英治



1972年（昭和47年）起工式の写真です。向かって、神主さんの左が初代理事長・所長の高橋茂です。



1973年（昭和48年）富士保育所の写真です。（現在の南門より、やや南西側を向いて撮っています。正面の二階部分が職員室です。）



遊戯室で落成式の準備でしょうか。右端のピアノの前に、小学5年生の私がテレビを観ています。



落成式当日の初代理事長。



第一回目の入所式が終わったところでしょうか。



当初は和太鼓ではなく、鼓笛を保育に取り入れていました。専門講師による指導の様子です。何だか、みんなとっても楽しそうです。



1975年度（昭和50年度）の全職員です。当時は、0歳児保育は行っておらず、1, 2歳児30名、3歳児30名、4, 5歳児60名でした。



こどもの数が増えたため、現在の職員室あたりの福山市の土地を購入。増築工事をしています。



増築が完了しました。



当時は、増築した建物に隣接して、大きな鳥小屋がありました。中には、孔雀 2 羽、チャボにニワトリ、アヒルにカモ、ウサギに孔雀バト…すごい数でした。



1980 年（昭和 55 年）頃…お迎えを待つ子どもたちでしょうか。まだ 4 人乗りぶらんこがありますね。しばらく遊具として使っていましたが、子どもたちは大好きでした。確かに怪我もありましたが、漕ぐ子、右には、大きく本体がずれないようにブランコの柱を押さえている子の姿があります。懐かしいです。



初代の理事長が北海道かどこかに旅行に行った際に購入したトーテムポールです。本来は守り神のようなものかもしれませんが、子どもによっては恐怖の代物だったようです。



1983年（昭和58年）の冬です。こんなにたくさん雪が積もったんですね。職員も子どもたちも大喜びです。（もしかして職員の方が楽しんでいたりして…）



1985年（昭和60年）の夏…ある職員が、子どもたちの水遊びと銘うって、自分の車を洗車？させています。これも保育？いいんです。保育は大胆な発想が必要です。



1988年（昭和63年）の春日学区敬老会です。もう和太鼓をしていましたね。この時は、職員太鼓も披露しました。真ん中の男性は、私です。

平成の時代に入り、時代は一気に過ぎ…

原因不明の水道の漏水に悩んでいました。また、子どもの数も増え…そろそろ園舎の建て替えを…と考え始めたのが、2000年（平成12年）の頃です。

2001年度（平成13年度）事業として、国と福山市から補助金をいただき、不足部分は福祉医療機構から借入れをして、園舎の建て替えを行いました。



2002年（平成14年）3月24日の落成式にて、初代理事長の挨拶。



現在の園舎完成。同時に、富士保育所から富士保育園に改名。

さらに、2017年（平成29年）4月1日から「幼保連携型認定こども園」に富士こども園として移行。

新しい園舎に保育の魂を吹き込み…新たな保育を模索する…

これからも地域の方々に愛される保育園として頑張ります。

瀬戸こども園について



2009年（平成19年）4月より福山市から移管（公立であった保育所の運営を、社会福祉法人虹福祉会が行う）を受け、瀬戸こども園も経営しています。

（※2018年（平成30年）4月1日より、幼保連携型認定こども園となり、名称も、「瀬戸保育所」から「瀬戸こども園」に変更しています。）

2009年度（平成19年度）中には、国と福山市から補助金をいただき、不足部分は福祉医療機構から借り入れをして建て替え、2010年度（平成20年度）からは新園舎になりました。

瀬戸小学校のすぐ下にあり、瀬戸地域の方々にとって大切な存在として位置づけられています。

社会福祉法人虹福祉会が瀬戸地域の皆様方に末永く愛され、子どもたちの健やかな成長を、地域の方々とともに築きあげてまいりたいと思います。

瀬戸こども園園長 高橋由美子

〒720-0836 福山市瀬戸町大字長和1379番地2

電話 084-951-1473 FAX 050-3317-4317

2018年（平成30年）10月16日・記